

第6回 FIM講習会

実施日：2019年3月16日

アンケートコメント一覧

3. 今回の講習会で得た知識を、どのように活かそうですか。ご自由にお書きください。	4. ご意見・ご要望をご自由にお書きください。
実際に評価に携わる職種ではないですが連携バスやりハビリ目的で入院された方のことを他職種間で話しあったり情報を共有するのに役立てれると思いました。	今まできちんとした講習を受けることなく周囲のスタッフに相談したり職場にある具体例を参考にしたり時には前回の評価を参考にしてきました。あいまいな部分が多かったのですが今後はもっと自分なりの評価ができそうです。
病院看護師のADL評価のために導入していくにあたり、どのように教育していったらよいかヒントになった。自分たちの理解を深められた。	面白かったです。運動よりも認知の方が難しかったです。
普段実際に使っている、評価基準があいまいに覚えているところが多かったです。今回分かりやすくまとめてくださっていたので、困ったときにはこの資料を見返してより、正確に評価しアプローチにつなげていけたらと思います。	分かりやすい解説をありがとうございました。
実際の病棟でのADLを評価するツールとして使用したいと思います。講演会の資料を確認しながら採点したいと思います。	メモに追われることもなく回答もあり分かりやすかったです。
ADL評価がとても参考になりました。実際の現場で点数をつけることはありませんが、これから地域包括もFIMの評価必要となる時、評価点の意味が分かるし介護審査会でも役立てられると思います。とても分かりやすかったのですが、自分で評価となると、すぐ評価できませんでした。認知項目は評価することは私には難しかったのですが考え方は理解できました。認知のレベルの項目などでおおよその認知度の尺度ができるといいと思います。	排泄コントロールと認知項目はもう少し色々な具体例と点数を交えつつ聞けたら良かった。
今後院内全体でFIMでの評価に変更となる予定です。全く未経験でしたので、この講習会の資料や文献を購入し導入のためにさらに学んでいきたいと思っています。	今回学んだことを活かして患者さんと関わるときには「この人は〇〇点かな？」と考えながら仕事したいと思いました。
FIMを「入院中の患者のADLを多職種で共通利用するツール」として看護師が使えるよう今後の院内勉強会で活かしていきたい。	
今後FIM評価を行うにあたって役立てていこうと考えています。	
日頃の業務の中で評価にしっかりと活かしていきます。	
前職場でFIMを活用していました。現職場は活用できておらず、今後の教育に役立てたいと思います。復習になりました。	
ADL評価、自立度の改善度、他多病院へのサマリー、チームカンファレンス。	
FIMの研修会に初めて参加しました。運動項目、排泄コントロールの項目は迷わず評価できると思いましたが認知項目は難しいと感じました。例えば不快を与えるとか日によってムラがある患者様の評価など。他職種と統一の評価指標として自分自身も学んでいきたいです。	
週1でのFIM評価の際に役立つと思う。	
日常の臨床で正確にFIMの評価が行えるよう基準を確認したから行っていきます。	
連携バスで回復期を退院した患者のFIMが戻ってくるが、点数がどの程度なのか理解できていなかった、どこまで回復したのかよくわかっていなかった。回復具合を確認できることで今後の診療の際に患者との関わりの持ち方が変えられるかもしれないと思った。	
FIMの精度向上	
FIM評価の判断時間が短縮できそう。	
以前から、排泄コントロール、認知項目のFIM3～5点に当たる判断が中々難しく感じていました。今回の講習会の知識を元に評価に反映して治療対象や予後予測・退院支援に役立てたい。	
日々の業務の中でFIMで観察しながら介入していけそうです。	
現在はBIを使用して評価することが多いのでFIMを使用してより具体的な経過をおっていききたいと思います。	
これまであいまいな感じでFIMをつけていました。基準やパーセンテージなど具体的に示されていたためFIMの採点の精度を上げたいと思いました。悩んだ時にはこの資料を見直して運動項目の採点を行っていききたいと思います。	
臨床場面でPTのみで介入することがあり、セルフケアや認知項目も自分でつけないといけないことがあるけど、今まであいまいな状態でつけてしまうことが多かった、今回学んだ知識をふまえて点数をつけて患者さんの経過をおえるようにしたいです。	
NSとの情報収集に役立てていきたい。	
病棟で実際に行っている動作で評価をしっかりとやっていきたい。認知項目は特に分からなかったので大変勉強になった。	
今まで評価としてつけていたFIMは間違いが多かったことに気づくことができました。今後は急性期から回復期へバスを送る際に気をつけて評価していきたい。	
他のスタッフに患者の情報を伝えるときもFIM評価につながるような内容にしていきたいと思いました。	